

2019 BIWAKO Racing 2H

特別規則書

本大会は、多くの方にカートレースの楽しさを体感し、安全にレースを楽しみチェッカーを受けて頂くことを目的としています。趣旨ご理解の上で、勝負にこだわりすぎず・マナーを守り、主催者の指示に従って頂きますようお願い致します。尚、下記イベントレース特別規則書に従って開催されます本大会につきまして、皆が協力し合い、上級者の方は初心者の方に対する配慮を怠らず、常に模範となるようなフェアプレイをお願い致します。最後に、本規則書には最低限遵守して頂きたい事項を記載しております。記載事項以外に関してもマナー・ルール・安全意識を個々で再確認して頂き、ご参加くださいますようお願い申し上げます。以下の規定にないものは、JAF国内競技規則及びSLカート競技規則に則る。

大会開催に関する事項

1 競技会オーガナイザー及び開催場所・日時

- 1) 主催 近畿レーシングカート耐久レース実行委員会
共催：琵琶湖スポーツランド・カートサービス八夕・KAKIE Racing・シナジーリンクス
- 2) 開催日 9月8日(日)
- 3) 開催コース：琵琶湖スポーツランド
- 4) レース方式：耐久レース

競技会参加に関する事項

1 延期、中止または取り止め及び変更に関する事項

主催者は、大会の一部あるいは全部を延期、中止、または取り止めることができます。エントラント及びドライバーはこれによって生じる損失についてはオーガナイザーに抗議する権利を保有しません。なお、オーガナイザーはイベントの内容を変更する権限を保有し、これに対する抗議は認められません。

台風・悪天候により、開催中止の場合は、事務手数料を差し引いてエントリー代の返却を行います。
開催途中での中断の場合は、一切の返金はいりません。延期日は設けていません

2 エントリーの受付と参加資格

- 1) エントリー受付期間：レース開催日より1ヶ月前から1週間前
 - 2) 参加資格：2019年有効なSLライセンスまたは、JAFライセンス所持者でかつSLO安全保険加入者
※BSLコース走行資格と同じです。当日までに各ライセンスは取得下さい。
 - 3) 参加人員：1チーム2名～5名
 - 4) 参加受付：所定のエントリー用紙を記入頂く。WEBもしくは開催場所窓口にて受付
 - 5) エントリー費用
- エントリー時にエントリー用紙と共にご入金ください（WEBの場合は、オンライン決済）
エントリー代：20,000円（税込）

※車両は各チームでご用意ください。

3 エントリーの受理と拒否

- 1) 主催者は理由を示すことなくエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とします。
この場合、エントリーフィーは全額返還されます。
- 2) エントリーの受理は、必要事項の全てが明記された参加誓約申込書及びエントリー代が受付場所で受理された時点で主催者の参加承認が成立しますが、拒否の通知は開催日までに通知されます。
- 3) 一旦受理されたエントリーフィーはいかなる理由があっても返還されません。

4車両規定

1) 開催クラス：YAMAHA SSクラス

2) レース参加車両

シャーシ規定：一般市販品。安全上問題がないものとしリアプロテクション装着は推奨とする。

3) エンジン

YAMAHA KT100 SD,SC、SEC（中学2年生以下のチーム員を含む場合は、SECのみ）

4) 重量

カート重量（レース中固定）+全ドライバーの平均体重（装備込）を最低重量とする。

最低重量150kg以上

※ 上記の最低重量に満たしていない場合はウェイト（鉛）を取付・搭載頂きます。

競技中のウェイトの変更（付替）は不可（ガソリン量の増減のみ）とする。

5) 各クラスタイヤ

ドライ・・・BS SL17

レイン・・・BS,DL,YHのSLレインタイヤ

但し、4本のタイヤは同じ銘柄であることとする。

※ タイヤソフナー等のタイヤの性能向上目的の塗布は禁止。

6) 燃料

・ ガソリンは各自で用意するものとし、一般市販ガソリン指定。

・ ガソリンの購入は指定ガソリンスタンドにて車両申告書に購入証明をもらうこと。

※ エンジンオイルは通常市販されているものとし、添加物の使用は一切認められません。

7) ゼッケンナンバー

前後にゼッケンを、見やすい文字で貼りつける。

下地、数字の色は問わないが、見えにくい文字は計測不能となる場合がある。

8) 車両検査

非合法な部分がありながらも車検にて発見されなかったとしても承認を意味するものではない。レース中にそれに関する疑義が生じた場合は黒旗の指示又は賞典外になる場合がある。各ドライバーは車両検査に立ち会わなければならない。

また、カート車両と装備品類は清潔でかつ正しく整備された状態でなければならない。

(1) エンジン規定はSL車両規定に準ずる。

(2) 封印（マーキング）

車検時に、エンジン及びタイヤのマーキングを行う。

5 ドライバー装備品

1) スーツ

FIA、FMK/FIA、CIK/FIA、JAFの公認を過去に取得したレーシングスーツ。作業ツナギは認めない。

2) ヘルメット

各種規格に適合、フルフェイスヘルメットのみ認められる。

※ 著しい損傷・不具合等があるものは変更して頂く場合があります。

3) グローブ

4輪・カート・バイク・メカニックグローブ又作業グローブを必ず着用し走行して下さい。

軍手、滑り止め軍手の使用は認めない。

4) シューズ

レーシングシューズ・バイク用ブーツ又はくるぶしまで覆う運動靴を着用して下さい。

5) 小学生には、ネックガード及びリブプロテクターの装備を義務付ける。

※ 小学生以外にも装着を推奨します。

競技に関する事項

1 フラッグ

競技中ドライバーに対する走行指示は、下記の種類の旗に従い行われます。

① 黄旗（イエローフラッグ）

前方に危険あり、安全を確保した状態で通過せよ。追い越し禁止。

② 赤旗（レッドフラッグ）

レース中断。ドライバーは徐々にペースを落とし徐行してコントロールライン（オレンジ色ライン）手前にて一列で停止する。※赤旗中断中はピットイン・アウト禁止。

③ 緑旗（グリーンフラッグ）

競技再開の合図。コースクリア。

④ オレンジボール旗

指示された番号のカー트에トラブル・不備が発見された場合のピットイン命令。改善必要箇所の修復後、再出走できる。SC中の隊列に大きく出遅れた車両などに対して提示する場合もある。

⑤ 黒旗

提示された番号のカーートのピットイン命令。SC中の隊列に大きく出遅れた車両などに対して提示する場合もある。

⑥ チェッカー旗

競技終了。ダブルチェッカー（チェッカーを2度受けること）は失格行為である。

⑦ 「SC」サインボードまたは、「SLOW ボード」の提示

2 公式練習及び予選

タイムスケジュールに定められている時間内に各チーム参加しなければならない。

3 スタート

1) スタートはローリングスタートとする。

4 レース中のルール

1) コース進入・ピット進入の際は、必ずドライバーサインを行い走行車へ合図を行って下さい。また、大変危険ですので特にコースに進入する際はピット出口ホワイトラインカットしてはなりません。

2) オフィシャルが反則または妨害行為（故意なプッシング、ブロックングその他の非スポーツマン的行為）とみなした行為については競技長よりペナルティーが科せられる。

3) レース中は、やむを得ない場合を除きコースを外れてショートカットすることは認められません。

4) 衝突を避ける為にやむを得ずコースアウトした場合は、その最も近い場所から安全を確認して再びレースに復帰する。

5) レース中にコースエリア内で停止してしまった場合、他のドライバーに自分が動かないことを示し、それらが過ぎ去ってからカーートをレースの障害とならない場所に移動しなければなりません。

6) ドライバー交替は決められた場所で行なわなければなりません。

7) ドライバーは工具等を携帯することはできない。またピットへ工具を取りに戻ることやピットクルーがコース内に立ち入って作業することはできない。

8) 事故や接触に見舞われたカーとは、オフィシャルによって検査のために停止を命じられることがあります。

9)トラックとピットロードを区分するバリアなどに接触もしくはコースインする際の著しくラインをカットしてはいけません。危険と判断した場合や接触した場合は安全走行義務違反としてペナルティーの対象となる事もあります。

10) 黄旗が振られている場合は、前方に停止車両がある場合であるので、十分な減速を行って、走行をする。危険な追い越しはペナルティの対象とする。

11) コース上での押し掛けは、自己復帰可能な場合のみ認める。ピットクルーによる押し掛けは認めない。

単独でのコース復帰が不可能な場合は、ピットに戻って、押し掛け補助つきで再スタートとなる。

コース上からの、カー回収の際には、SCが入り、回収までSCに従い周回をする。

5 ドライバー交代規定とピット規定回数

1) ドライバー交代回数は、4回以上。

ドライバーに負担のないことを判断し、適宜交代及び休憩をとること。

6 給油

- 1) 指定された場所で給油を行うこと。
- 2) 給油は焦らずに安全に行うことを心がける。
- 3) 給油はレース時間内であれば、回数の制限は行わない。
但し、給油時は、5L以下のポリミックスタングの使用のみを認める。
携行缶からの、給油やジョッキ等はレース中の給油には使用を認めない。
- 4) 給油時のドライバー交代は必須とする。

7 ドライバーサイン

- 1) ドライバーサインは次の通りとし、これを怠った者に対してはペナルティーを課することがあります。
 - (a) コース上で停止した場合は、両手を高く振り、他の走行車両に合図する。
 - (b) ピットイン、ピットアウトする場合は必ず他車にわかるよう片手を頭上位置より高く上げる。

8ピット作業について

レース中のピット作業は、禁止とする。
指定されたリペアエリア、もしくはパドックに戻っての作業を認める。

8ペナルティ

競技中のペナルティは以下のように行う。

レース競技に対するドライバーへのペナルティはピットペナルティとする。
また重大な危険行為の場合は、失格になる場合がある。

- 1) ドライバーサイン不履行
- 2) 与えられたフラッグサインの無視
- 3) プッシング及びブロッキング等ドライバーマナー違反
- 4) ピットロード徐行違反
- 5) 逆走及びコース上でチーム員と連絡を取るための停止（特にストレート上）等コース上での危険行為

競技中のドライバー服装違反、車両不備は、オレンジボールで対応を行う。

※ペナルティは主催者・オフィシャルの判断による
※参加者は主催者の判定に抗議を行うことが出来ない。

9 完走

- 1) フィニッシュライン（各計測ライン含む）を通過する際には、ドライバーとカートは一体となっていなければなりません。
(エンジン動力で進んでいない、マシン回収時等は周回としては認められない。)
- 2) ドライバーはゴールラインを通過後徐々にスピードを落とし(追越しは禁止)正規のコースを走行してピットインしなければなりません。
- 3) 完走者となった車両のみが入賞の対象となります。
- 4) 規定の時間又は周回を終了する以前に誤ってチェッカー旗が表示された場合は、その時点を以って競技終了とします。また遅れて（時間又は周回数）チェッカー旗が表示された場合は、チェッカー旗とは無関係に、競技は規定の周回数で終了したものとして順位が決定されます。

10 抗議

方法と扱いかなる場合にも抗議は原則として受け付けられないものとする。

11 その他の事項

- 1) 場内での喫煙・火気使用について
パドック内全面、禁煙とします。給油所近辺での喫煙を発見した場合は、当該チーム失格とします。
その他のエリアにおいても、夏場のガソリンの使用については、十分に注意の上、取り扱いを行うこと。

損害補償

1) 損害補償の責任について

主催者および大会役員の業務遂行により起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷および車両の損害に対して主催、後援、協力、協賛するものおよび大会役員は一切の補償責任を負わないものとする。